

# 市政に対する 代表質問

※各会派の所属人数に応じた掲載枠となっています。

3月定例会では8会派が市政全般について質問を行いました。  
※代表質問とは、会派を代表する議員が、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1会派2時間を目途に行われます。

各会派名の右に掲載しているQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、代表質問の録画映像をご覧いただけます。

## 自由民主党 越谷市議団

野口 佳司 議員



### 一般会計当初予算における基本的な考え方について

**問** 市民生活の安全・安心に直結する土木費について、どのような調整を行ったか。

**市長** 予算編成においては、市民生活への影響を踏まえ、緊急性や安全性、地域住民からの要望等を精査し調整を行った。当初予算では、年間の収入を過大に見積もることができないため、土木費への十分な予算措置が難しい状況であるが、繰越金等を活用し、9月の補正予算等での対応を検討していきたい。

**問** 各自治会からの要望に対して毎年度の積み残しがあると思うが、現状は。

**市長** 道路補修等に当たっては、多くの要望等があり、その中で緊急性や安全性、補修規模等を勘案し、順次補修等を行っているが、時間を要する案件もある。

### 越谷市立病院における救急医療体制の充実に向けた取り組みについて

**問** 医師の働き方改革が本格実施されたことによる影響をどのように分析しているか。

**市長** 市立病院では、令和6年度から医師の年間労働時間を960時間以内にする「宿日直許可」を取得しており、昨年度よりも超過勤務時間が削減されている。また、医師事務作業補助者の配置や、紹介受診重点医療機関として地域の外来機能の明文化連携を推進することで、医師の負担軽減を図っている。こうした医師の労働環境を改善することは、医師の確保にもつながると分析している。

**問** 浦和美園に800床を超える順天堂大学病院を建設する計画が中止となったが、順天堂大学および近隣大学病院との医師の確保に向けた取り組みは。

**市長** 市立病院では、日頃から順天堂大学と派遣していただく医師の調整を行っている。また、救急医療体制の強化に向け、救急医を追加派遣していただくための準備を進めている。さらに、獨協医科大学埼玉医療センターから2名の救急医を派遣していただいております。市立病院が必要としている診療科への医師派遣をさらに拡大できるのか、可能性を探っていききたい。



市立病院

### 市民の安心・安全な防犯のまちづくりについて

**問** 市が主体となって防犯灯を設置するべきと考えるが、市長の見解は。

**市長** 近年、全国的に刑法犯認知件数の増加や、犯罪の凶悪化などの傾向が見られ、市民生活が脅かされている中で、道路照明灯は道路を明るくすることによる交通安全対策のほか、犯罪抑止にもつながることから、今後は引き続き交通安全対策としての道路照明灯の設置を進めるとともに、防犯面にも配慮した道路照明灯の設置を検討していきたい。

**問** 防犯面に配慮した道路照明灯の設置を検討していきたいとのことだが、設置基準の改正に向けた具体的なスケジュールは。

**市長** 令和7年度に他自治体の事例や効果の調査、各種項目や整備方針等の調整を行ったうえで、設置基準を改正し、順調に進めば令和8年度に新基準による運用を開始できるよう取り組んでいきたい。

### バス路線に対する市の対応について

**問** 公共交通を利用しづらい地区の一部の自治会から、住民の希望が多ければ、独自でマイクロバス路線を開設したいとの話を伺った。市民の暮らしを守る観点から、開設の運びとなった場合、財政的な支援を行う考えは。

**市長** 地域の自治会等が主体的に行う補助活動による運送サービスは、乗合交通を利用しづらい地域の移動手段として期待される一方、サービスの継続性等に課題がある。今後は地区の関係者と相談しながら支援の在り方を検討し、補助制度について国の動向や先進自治体の事例等を調査研究していきたい。

## 公明党 越谷市議団

竹内 栄治 議員



### インフラ老朽化対策について

**問** 市の保有する管渠(污水管・雨水管)およびポンプ場施設の点検内容と結果は。

**市長** 口径1000ミリメートル以上の下水道管渠を約3.8キロメートル、流域下水道との接続箇所を10カ所、目視で点検を行ったが、管口周りに破損等の異常はなかった。

**問** 構造基準が適用されていない管路について、国の対応を待たずに独自に点検・調査を実施する考えは。

**市長** 圧送管吐き出し部等の下水道管渠約0.8キロメートルは、下水道法施行令の改正以前に整備され、構造基準の適用外となっているが、国が定める5年に1回の目視点検やテレビカメラ等を利用した詳細調査を実施している。今後も詳細調査を実施するとともに、国の補助金を活用しながら、構造基準に基づいた下水道管渠の改築に取り組む。

**問** 上下水道、農業用水等インフラが埋設された市道の路面下空洞調査を行う考えは。

**市長** 八潮市の道路陥没事故を受け、インフラの埋設状況を精査し、テレビカメラ調査等

の点検状況を踏まえ、対象路線の再検討、路面下空洞調査を実施する。

### ゼロカーボンシティ実現に向けて

**問** 家庭用廃食用油をアスファルト合材製品の重油代替燃料として活用することで、CO2排出量を削減し、家庭用廃食用油の下水投棄を防ぐことができる。家庭用廃食用油のリサイクルを推進する考えは。

**市長** 家庭用廃食用油を重油代替燃料として活用することは、資源循環のみならず、地球温暖化対策にも寄与する。今後は他市の先進事例を参考に、家庭用廃食用油のリサイクルの可能性を検討するなど、引き続き市民・事業者と連携し脱炭素の推進に取り組む。

### 共生社会の実現について

**問** 認知症の症状発生を抑制し、認知症の方と家族の尊厳ある暮らしを守るため、ユマニチュードの普及に取り組む考えは。

**市長** 認知症に関する正しい知識や、認知症の方への接し方について、その普及啓発に努めながら、国による研究の動向を注視する。

**問** 認知症を早期に発見するため、認知症検診が必要と考えるが、市長の見解は。

**市長** 認知症の早期発見・早期受診につながる取り組みとして、認知症検診の実施について検討を進める。

### 带状疱疹ワクチン定期接種化について

**問** 50歳から64歳までの接種について、市独自の助成を行う考えは。

**市長** 50歳から64歳までの接種について、現段階で市独自の助成を行う予定はないが、今後、定期接種の対象年齢等が変更される場合には、国の方針にあわせて対応する。



## 越谷刷新 クラブ

野口 高明 議員



### 大袋駅東口駅前周辺整備について

**問** 以前の答弁は、構想の内容を踏まえ今年度は大袋駅東口駅前広場やアクセス道路整備、また既存道路の改修など、まちづくりの実現方策を検討するための基礎調査業務委託を実施していくとの答弁。進捗状況は。

**市長** 基礎調査業務委託を実施し、駅前広場やアクセス道路の整備について面的な整備事業、道路整備事業、既存ストックの活用など、それぞれの事業手法におけるメリットやデメリット、概算費用の算出、まちづくり上の課題や対応策を検討する。今後は基礎調査業務の内容を踏まえ、引き続き協議会および